



人道支援の灯を 一緒に守りませんか！

理事長 藤井 典夫

南山大学の教授であったシーランド神父が灯した「フィリピンの子供たちの命と教育を守る灯」が、30年以上経った今日も燃え続けています。その灯は、上智大学の神父さんで日本に帰化されたドイツ人教授とともにタイで始められた、ほんの小さな炎の灯でした。

今年1月の内閣府統計によると、全国には59,757もの特定非営利活動法人(以下NPO法人)があり、そのうち認定NPO法人は全国で僅か1.4%の843団体しかありません。

当時は、南山大学のロゴスセンター(現在のキリスト教センター)の一つの活動団体でした。活動は、子供の命を守り学ぶ場所を提供する、現在のSDGs目標と

もなっている「貧困、飢餓の撲滅、質の高い教育をみんなに」そのものです。広く社会に認知された活動団体であるべきだと思い、NPO法人に格上げの努力をしました。学校建設には多額の資金が必要です。寄附を受けやすい団体であるべきとの思いで、税制優遇が受けられる狭き門「認定NPO法人」に挑戦した次第です。助成金も手当たり次第挑戦をしました。資金獲得はクラウドファンディングをはじめ、ある程度のノウハウは取得できました。

しかし、RASAが最も重要で急がなければならないのは、「後継者の確保」です。運営スタッフの高齢化が進んでいます。70歳位までの人(男女問わず)でRASAのプロジェクトの運営に携わってみたい人を募集したいと思っています。現地の言葉は英語ですが、初級日常会話程度できれば、現地では通訳を雇うこともできます。勤務はご相談させてください。

第2、第3の人生をRASAのボランティア活動で生かすのも素晴らしいことです。是非とも一緒に活動してみませんか。



国際貢献ボランティアに ご参加下さい

理事 山本 良治

私がRASAに携わる様になったのは、退職後数年経過した頃です。長い間仕事をこなす中で、沢山の方に助けて頂きながらやり終えました。退職後数年は何をするでもなく、家でブラブラしながら過ごしましたが、時間的に余裕が出来たので、世の為、人の為に少しでも恩返しの意味も含めて何かやらなくてはと思うようになりました。更に体が動ける内に協力しないと悔いが残る事になると気が付いて、お手伝いする事としました。

RASAのスタッフは、全員家族のような感じで接してくれました。NPO法人の仕事の内容は学校建設、人材育成、給食支援、生活支援及び、その仕事に伴う経理処理、広報等多岐にわたってあります。

そこで学校建設事業について説明させて頂きますと、ボランティア学生募集を行い、フィリピンの現地まで同行し、ホームステイしながら学校建設現場の手伝いを行います。

20日間程度滞在すると、学校をこの手で造り上げるという満足感と国際貢献している実感が湧いてきます。ホームステイして一緒に過ごしますと、家族の一員になった様に感じ、別れの時に涙が込み上げてきます。

この様にボランティア活動を実際に経験しますと、気分的にも若返り、色々な場面で感動します。是非皆様もお気軽にご参加いただきながら、ボランティアの感動を味わっては如何でしょう。

◆ 私たちと一緒に活動してみませんか？

RASAではスタッフ同士助け合いながら、アットホームな雰囲気です。活動しています。詳細につきましては、お気軽にお問い合わせください。ご連絡をお待ちしております。

- ☆国際協力、社会貢献に興味、関心のある方
- ☆フィリピン(海外)に興味のある方
- ☆セカンドライフをお考えの方
- ☆写真、動画編集の好きな方
- ☆SNSを利用している方 etc. 大歓迎です！

新校舎建設開始

クラウドファンディングの目標金額達成から約1年。

1月6日パラグタス・セントラル・スクールの新校舎建設作業が始まりました。

皆様の温かいご支援で、新校舎建設が着工まで辿り着くことができました。心より感謝申し上げます。

毎日、建設会社の現場管理者のもと、建設作業は順調に進んでいます。

まずは、建設場所の樹木の伐採。そして、基礎工事をしていきます。



さて、軽装、そしてヘルメットや手袋、安全靴等が無い建設現場。フィリピンではこれが当たり前で学校が建設されていきます。例年、学校建設のボランティア活動に参加した際に、建設作業で使用した靴や軍手をプレゼントします。自分で装備品を準備しなければならない日雇い作業員の皆さんは、大変喜びます。日本の軍手は重宝するのだそうです。今回は現地に行けないことが、とても残念でなりません。



建物の土台となる部分が出来てきました。洪水の危険性が高い地域であるため、地区監督者から床を通常より1.4メートル上げるよう要請がありました。そのため、階段や外廊下、照明取付の追加工事が必要となり、話し合いの結果、追加費用は地方自治体が負担することになりました。それに伴い完成予定が1ヶ月延び、5月30日となりました。今後も随時ホームページ等で進捗情報をお伝えしてまいりますので、完成までの工程を楽しみにご覧いただければ幸いです。



食品配付支援

フィリピンの感染者数が大幅減少しました。約2年続いた学校閉鎖が、3月下旬国内移動規制が全面解除となったことから、全国約1万の小学校では対面授業の再開許可が下りました。当サウスビル I 小学校では、3月21、28日に少数で対面授業が行われました。学校年度末の6月迄食品配付の予算を組んでいます。従来の学校での給食が再開されるか、食品配付をどうするかは、現地学校の諸状況に合わせた支援になるように進めたいです。



食品を受けた親御さんは、周囲にその日の食にも困る家族がいると、我が家の分だけ、今困っているのだからと分けてあげるのです。「有る時には助けて、無い時は助けてもらう」この相互扶助の精神で、貧しくても前向きで笑顔で生きる姿勢です。経済的な影響で人の交わりが希薄化のみられるわが国で学ばねばならない大切なことです。



コロナ禍で最も大きな影響があったのは、貧困層です。2020年学校閉鎖で給食支援が不可能となり、パンデミックで現地との連絡が途絶えました。翌2021年フィリピンで学校年度を9月開始、6月迄と変更する新制度が決定しました。9月開始まで支援を止めるわけにいかず、それまで中断していた支援を一日も早く再開するために当初の予算を前倒して、その間4～8月の5ヶ月間の支援資金を送金しました。新年度救済にあたり、特に困窮児童の救済について学校側の意向とRASAとの合意に至る迄、何度も交渉を重ね契約しました。兎に角支援を継続する趣旨で、対象児童数も4割増の140名、年度末の今年6月迄の予算と5ヶ月空白期間の資金の合計48%増の約340万円を準備します。現況はコロナ禍で、継続には資金が必要なのです。どうぞご支援をお願いする次第です。

配付食品は1回で約2週間分、1,000円弱となります。特に玉子は日本と大差のない価格です。

1回分の平均食品代(約2週間分)

米	5kg	約512円
玉子	10個	約120円
粉ミルク	38g×8袋	約152円
缶詰	5缶	約212円
合 計		約996円

※支援対象140世帯

約30%が無収入、約45%が月収11,000円未満

現地スタッフのデニス氏は、限られた資金でイワシやサバ、豚肉と豆の煮込み缶詰等栄養面を考えて調達しています。また、セール品を購入する等できるだけ多くの食品を配付できるよう心がけています。



140人分となると、米だけでも総重量700kgになります。下の写真は50kgの米を頭に載せて運んでいます。



RASAの限られた資金で支援できるのは、現状140人が限度です。「家に食べ物があるので嬉しい」「支援対象に次もまたどうか私を選んでください」という児童の声が届くと嬉しい反面、支援を受けられない児童が多くいる現状に心が痛くなります

フィリピンの子供たちに支援を継続していくために、皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。

東海地域NGO活動助成金支給へ応募 10万円受諾！

コロナ禍で資金不足で活動が滞っている団体への活動支援のために実施されたもので、RASAは「食品配付支援活動」で応募しました。書類の1次審査が通り、2次審査はコロナ禍で1団体ずつ個別で行われ、結果は採択でした。主催者側は当初2次審査で採択は3団体となっていたましたが、NGOの活動が資金面で困難な時勢を鑑み、2次審査を受けた全団体に助成金10万円が支給されました。後日、活動及び会計報告を提出します。

今年もラグナ州教育省から表彰されました！

フィリピンは各州で行政運営され、毎年度末に州内での教育関係に貢献した団体に賞が与えられます。RASAは、困窮している学童世帯への「食品配付支援」に対する効果と実績が認められました。

2017年から今回で4回目の受賞となります。

RASAに代わり、学校長、RASA現地責任者他2名が授与式に出席して、受賞した20団体中4位で盾をいただきました。他団体の受賞理由は下記のとおりですが、現地の小学校やハイスクールの教育に充当する予算が大幅に足りていません。

1. 文房具の寄付
 2. 手洗い場の寄付
 3. 飲料(MILO)の無料配布と運動プログラムの提供
 4. 校舎壁面や備品補修用の塗料の寄付
 5. 販売用野菜(ハイスクール構内で栽培収穫)の種子の寄付ー教育費に充当
- 公的制度は整備されても、学ぶ環境や教材の不足など、具体的な施策がまだまだ必要と思われます。



左から、サウスビル I 小学校校長先生、
現地スタッフ デニス、オリビア、
コーディネーター ジョイス

今後の活動予定

フィリピンの新型コロナウイルス感染症対策に柔軟に対応しながら、学校建設と給食支援(食品配付支援)活動を進めてまいります。

5月 定期総会 (開催日時・詳細につきましては、後日ご連絡させていただきます)
新校舎竣工(30日予定)

会員が減少傾向です！活動を支援いただける方を募集しています！

資料をお送りいたしますので、RASA-Japan事務局までご連絡ください。

※「遺贈によるご寄付」、「相続財産のご寄付」は、相続税が免除されます。お志のある方はご連絡ください。

RASA-Japanは皆様の会費と寄付金で運営されています



認定 特定非営利活動法人

RASA-Japan

理事長 藤井 典夫

〒468-0014 愛知県名古屋市天白区中平2-2627

TEL/FAX 052-803-1649

E-mail info@rasa-japan.com

郵便振替：口座番号 00890-4-31185

受取人 特定非営利活動法人RASA-Japan

三菱UFJ銀行：平針支店 普通 0037025

トクティヒエイリカツドウハウジンラサジャパン

ホームページ

<http://rasa-japan.com>



@rasa_japan



@rasa.japan



@rasa_japan

